

本当に日本会議に入って色々な勉強をさせていただきありがとうございます。

【事務局
注釈】

高林さんは、8月23日護国神社齋館で行われた「新潟支部定例会（勉強会）」に魚沼市から参加されました。
「新潟支部定例会」は、原則「毎月第3日曜日午後2時から、護国神社齋館」で開催していますが、どなたでも参加できます。
《照会先：新潟支部事務局小熊。事務所電話025-384-0252》

6 自由投稿

我が支部理事である「戦史博物館館長本里福治氏」の記事が去る9月1日付け産経新聞の「佐々木類論説副委員長の”風を読む”」に掲載されました。

「戦争博物館は、英霊の名誉と、日本の正義を世界に問う拠点」等の使命を果たすべくリニューアルしましたが、本里氏は昨年10月5日付けで館長に就任いたしました。

戦勝国による一方的な東京裁判による自虐史観を教え込まれた私達の呪縛を解き放ち、「誇りある国づくり」運動に繋がるこの博物館運営が軌道に乗っていくことを心から願っております。

今年の8月15日は、新型コロナ禍ため戦没者追悼中央国民集会在が参加者も絞って、屋内での開催となったとのこと。令和2年は、終戦から75年の節目でもありました。本里館長から「大東亜戦争・戦争博物館」について語っていただきました。
《文責：小熊事務局長》

那須街道を歩いていると、朱色の機体が目に飛び込んできた。戦前、航空兵を教育するために訓練で使われた練習機の通称「赤とんぼ」だ。
本来は複製機なのだが、朽ちて一枚羽だった。長い歳月を思わせる。
休日を利用してぶらりと訪れた栃木県那須町の山あいにあるのが、「日本で唯一」という触れ込みの戦争博物館だ。赤とんぼはそこに佇んでいた。
この博物館がピンチに立たされている。旧関東軍獣医学部（シベリア抑留後に帰国した創設者、栗林白岳館長が昨年春他界し、運営の不備も重なって存続が危ぶまれているのだ。
何しろ、展示物は栗林氏が個人で収集した物がほとんどだ。管理の仕方もうや地方自治体などが運営する公的な博物館のようにはいかない。館内の図書館では、貴重な書籍や文書が心ない訪問者に盗まれることも度々だ。
博物館は、屋外展示のほか、陸軍館や海軍館、特別攻撃隊記念館、日本歴史館、図書館で構成されている。個人収集とは思えないほどの珍しい展示物の数々を見ることが出来る。
度肝を抜くのが、屋外にある世界最



令和二年九月一日 産経新聞

論説副委員長 佐々木類



「パワースポット戦争博物館」
戦争博物館館長 本里 福治氏

貴重な史料を後世に残したい

大級の榴弾砲だ。説明文によると明治37(1904)年、日露戦争で、旧日本軍が旅順攻撃の際に使用した実物だ。
陸軍館内には、歩兵射撃教本や軍隊教育令、敵機一瞥といった携帯用の豆本がズラリと並ぶ。軍服など衣類の中で目を引くのが、西南の役で実際使用された警官の正帽だ。現在の警視總監に当たる初代大警視を務めた川路利良が率いた抜刀隊のそれなのだ。
新館長の本里福治氏は、「英霊に感謝したい」という初代館長の遺志を引き継ぎ、民族の大切な遺産である資料を後世に残していきたい」と語る。
大雨の中、博物館前から路線バスに揺られて帰途についた。気づけばいつの間にかトンボが車内に紛れ込み、最後尾に座る私の方に飛んで来て近くに止まった。高原の夏は短いなと思いつながらよる見ると、赤とんぼだった。何かを伝えにきたのだろうか。
博物館は維持運営のため、寄付金を募集している。振込先▽みずほ銀行宇都宮支店(普) 4832006▽郵便貯金 記号10780 番号36933541▽いずれも一般社団法人戦争博物館まで

まさに、大東亜戦争は聖戦としか言いようがありません。世の中には「アジア諸国を侵略した」などという人が、まだ居ります。しかし、考えてみてください。当時、アジア諸国と言われる国は一つも…、厳密に言えば日本とタイと清国を除いて…、一つも無かったのです。ない国をどうして侵略できるのですか。

日本が戦ったのは、アジアを侵略し、植民地にし、現地の人たちを奴隷としてしか見ていなかった白人諸国と戦ったのです。

その証拠に、日本が降伏したのち、多くの日本兵が現地に残り、独立軍と共に戦いました。「我々は諸君らを植民地から解放すると約束して、一緒に戦ってきた。日本が負けたからといって、その約束を反故にすることはできない」と、彼らは思ったのです。

新潟に近い新発田116連隊はベトナムで終戦を迎えました。地元には歴史資料に残らない証言として、少なからぬ数の兵隊さんたちがベトナムに残ったことが言い伝えられています。